

産婦人科の先生たち

三重大学病院研修医の高崎亮宏です。紀南病院では月に産婦人科、5月に内科でお世話になって

を行っています。現在、紀南病院産婦人科には紀平先生を始め、月より赴任された小林先生、前沢先生の名のドクター。この名で紀南病

区は平日午前中は外来業務、病棟回診午後手術、日夜問わず分婉

を行っています。この地域の産科の特徴、お産へのアプローチや先生方による医療スタッフ向けの講義、普段の会話などからも勉強

は勉強にならないか、とよく聞かれますが、(笑)社会勉強に

なっています。紀平先生を始め、名の医師は、非常に穏やかな性格と優しく過かして頂きます。また同

百聞は一見にしかずとはよくいったものだ



丸山千枚田で畦塗りを体験する鈴木先生 (上写真中央) 3ヶ月間と長期に渡って地域医療研修を行うため、5月の田植えなども精力的に参加していくとのこと。まだまだへっぴり腰だがこの研修期間で医師として必要な思考能力だけでなく体も鍛え抜かれることだろう。

三重県を訪れたこともなかった私はここに来るまで紀南はどんな所なのかと想像した。病院のHPにはコンビニやダイソーもあって生活に不便

研修医が作った

地域医療新聞

研修医が作った

今月の一句 地域医療 住めば都で

が入らなくなった等々。都会でも地方でも多い脳梗塞。健康日本21(これまで大学の公衆衛生で勉強した)ってな

塩分制限って口やかましく言うけど、塩分制限大事です。地域医療を短い期間ながらも経験させていただいて、

もつ人はもちろん出てくるであろう。ただ、地域医療とは違う道を進むとしても、ここで経験した事柄が今後のそれぞれの道で生かされてくることは間違いないと思う。(鈴木)

近くて遠い紀南地方

- 1位 雲取温泉
お湯がぬるくて開放感もあって好きです。
2位 丸山千枚田
初めて見たときは驚きました。
3位 海金剛
串本のマイナー？スポット。

ココに来てから1ヶ月経ち、周りの人に恵まれ色々な経験をさせてもらっています。医師としての技能を磨くことはもちろん、休日には観光も行ってます。



那智の滝での1枚 下段左から 高崎・山本・金子 上段は三重大学医学部学生

地域医療新聞 発刊にあたって

初めまして。この度、奥野先生を中心に地域の皆様のご好意で「地域医療新聞」を発刊させて頂きました。誠にありがとうございます。



前列左から三重大学学生、高崎先生、小児科問宮先生 後列 左から小林先生、紀平先生

この新聞は地域(田舎)での医療を学ぶという目的のもと大都市(津市・東京都など)から集まった研修医が作成します。